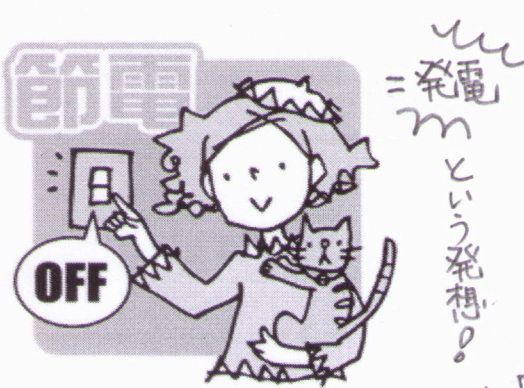


「ネガワット」って、ご存知ですか？

「節電所」とも言います。「電力が足りないから発電しよう」ではなく「ムダな電力使用を減らし、余った電力を電力会社が買い取り必要な企業等に回す」という発想。省エネ&温暖化防止対策の一つとして、欧米では導入が進んでいるようです。



みんなのちょっとした努力で、ドラゴンボールの「元気玉」のように発電所を作り出すイメージも実に効果的なのは、企業間の電力のやりとりだと思いますが! 家庭においても、必要な所に「元気玉」を届ける、そんな気持ちで節電できるといいですね!ふ。(笑)

「子どもたちの未来と被ばくを考える会」結成

福島原発は、今も自然界に放射能を出し続けていて予断を許さない状況が続いています。今まで経験したことがない原発災害の中で子どもたちは否応無しに放射能と向き合わなければならない時代に入ってしまった。子どもは大人の何倍もの放射能の影響を受けると言われています。被災を免れた和歌山の地で私たちにできること、未来の子どもたちを放射能から守るために私たち大人はどうしたらいいか一緒に考えていきませんか?

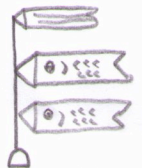
事務所：和歌山市三番丁6番地 関西電ビル4階 金原法律事務所 内

連絡先：事務局 ☎073-451-5960 (松浦攸吉)

コラム 「報道の裏を読む」

先日、環境総合研究所副所長の池田こみち氏は講演会の中で「日本の国民は、マスメディアが流す情報に他の先進諸国では考えられないほど高い信頼を置いている (例：日本では70%が信頼するのに対し、米国民は26%、イギリス国民は14%)。逆説すれば、新聞、テレビが提供する情報、とりわけ報道や解説によって国民の世論が形成されていることに他ならない」と述べていました。

原発の再稼働であれ瓦礫処理の問題であれ、一方的に流れてくる情報を鵜呑みにせず、自分で調べたり、両者の意見を聞いたり、批判的に見てみると、その報道の本当の姿が見えてくると思います。



次号もお楽しみに。



ホカホカワット
至福のネガワット